



石井桃子記念 かつら文庫

児童文学の第一人者である石井桃子さん(1907～2008)が荻窪の自宅に開いた子どものための図書室です。

★石井桃子

翻訳家・編集者としても活躍した日本の児童文学作家。

「ノンちゃん雲に乗る」で1951年、第一回芸能選奨文部大臣賞を受賞、2008年には杉並名誉区民の称号が贈られました。

地域の子どもたちがくつろいで自由に本を楽しみ、どんな本に夢中になるのか知りたくて、1958年に自宅の一部に児童図書室「かつら文庫」という私設の小さな図書室を開きました。現在は東京子ども図書館の分室として活動しています。



愛猫キヌちゃんと



かわいらしい入口

また、原書（現本）の絵本を訳して日本語で読み聞かせをし、日本でも、留学したアメリカでも、子どもは同じ本に同じように反応することを知り、絵本の編集や翻訳の参考になりました。

★手がけた翻訳絵本

「クマのプーさん」「トム・ソーヤーの冒険」「100まんびきのねこ」「ピーターラビットのおはなし」「百まいのきもの」「ちいさいおうち」など、多くの名作が翻訳されました。世界50言語以上に翻訳されているディック・ブルーナの絵本「ちいさなうさこちゃん」シリーズを読んだ人も多いのではないのでしょうか。

★1階

子どものための小さな図書室「かつら文庫」

本の読み聞かせや貸し出し、おはなしのじかん、保護者のための子どもの読書相談などを行っています。



庭を望む明るい図書室

第1・第3土曜日(祝日を除く) 午後2時～5時

★2階

石井桃子さんのへや

書斎と居室をほぼ生前のままの状態で公開しています。

公開書庫

かつら文庫の設立・運営にかかわった児童文学者・渡辺茂男(1928～2006)の蔵書と日本の児童図書賞受賞作を閲覧できます。

展示室

期間ごとに、子どもの本や読書に関する資料や絵を展示します。

マップのへや

各地の文庫や読み聞かせブループなどの資料を収集しています。



石井桃子さんのへや



公開書庫

★多くの著名人との交流

1964年、絵本「ちいさいおうち」の作者バージニア・リー・バートンが来宅、直筆画を描いてくれました。天沼に住んでいた井伏鱒二や太宰治とも親交が深く来宅していました。ドリトル先生シリーズの翻訳は井伏鱒二が手掛けました。

★数々の名作がここから生まれました

貴重な資料が豊富に収蔵されています。閲覧のほか本の貸し出しも行っています。見学できる公開日は月2回程度です。HPで確認してご予約ください。あなたも本の世界に入り込んでみてはいかがでしょうか？



バージニア・リー・バートンの直筆画

石井桃子記念 かつら文庫

- 杉並区荻窪3-37-11(荻窪駅南口徒歩8分)
- 問い合わせ先 公益財団法人 東京子ども図書館
- 電話 03-3565-7711 ● URL <https://www.tcl.or.jp>